第19回日本認知症グループホーム大会
実行委員会ニュース（No. 1）

2017.5.12

演題募集中！お早目の申し込みをおすすめいたします！締切6月20日（火）

先日、会員の皆さまに第19回日本認知症グループホーム大会の開催案内（パンフレット）をお送りしていますが、ご覧いただけましたでしょうか？

今年の全国大会では、分科会発表は５１演題、ポスターセッションは１７演題を予定しています。この全国で発表する機会に、数多くの皆様からのご応募をお待ちしております。なお、演題募集数が例年と比べ少なくなっておりますので、お早目のご応募をおすすめいたします。（予定演題数に達し次第、募集を締め切らせていただきます。）

番号	演題募集テーマ：演題の趣旨・背景	キーワード
1	グループホームは、地域における少人数の共同生活の中で、「なじみの関係」を重視し、利用者主体の生活を実現することを目的としています。また、入居者の力を活用できる場面（役割）に着目することで、行動・心理症状の改善などにも努めています。本テーマにおいては、グループホームならではの認知症ケアなどに着眼した演題を募集します。	認知症ケア、グループホームケア、生活支援、若年性認知症
2	グループホームの利用者は年々重度化傾向にあり、看取りも退居者全体の約２割を占めるまでになっております。重度化や医療ニーズの増加した利用者への対応が近年の重要課題の一つとなっています。本テーマにおいては、グループホームの理念を踏まえた医療との連携や看取り介護および早期対応による重度化予防などに着眼した演題を募集します。	重度化、医療連携、看取り
3	グループホームは、運営推進会議などを通じた地域との連携が重要視されてきました。また、新オレンジプランでは、地域における認知症ケアの拠点として、その機能を地域に展開し、認知症カフェや相談・支援事業、共用デイなどへの取組みが求められています。本テーマにおいては、グループホームと地域とのつながりなどに着眼した演題を募集します。	地域とのつながり、在宅の認知症の人・家族への支援
4	グループホームにおける喫緊の重要課題の一つとして、人材の確保・育成・定着があげられます。また、近年、自然災害、火災、介護事故、感染症、その他経営上の様々なリスクに適切に対処していくことが重要となってきています。本テーマにおいては、人材の確保・育成・定着や様々なリスクマネジメントなどに着眼した演題を募集します。	人材の確保・育成・定着、リスクマネジメント、権利擁護・虐待防止
5	その他	１～４に含まれない、各施設での特徴ある取り組み、行事、レクリエーションなど

「分科会発表・ポスターセッション申込書」および「抄録原稿用紙」を協会ホームページ（http://ghkyo.or.jp）大会サイトからダウンロードしていただき、大会実行委員会教育・研修担当宛て（mapleleaf-uji@nike.eonet.ne.jp）までお申込みください。

※大会の参加申込み締切りは６月３０日（金）となっております。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。（開催要項等詳細は協会ホームページ（http://ghkyo.or.jp）参照）

お問合せ　第19回日本認知症グループホーム大会実行委員会事務局
〒601-8393　京都府京都市南区吉祥院中河原里西町26　シャルル葛野大路１階
Tel　075-321-6215　FAX　075-321-6216　担当　久保・宮地